

# 国際開発 ジャーナル

国際協力の  
最前線をレポートする

MARCH 2015

No.700

3

International Development Journal

<http://www.idj.co.jp>

特集

## 地球を測る

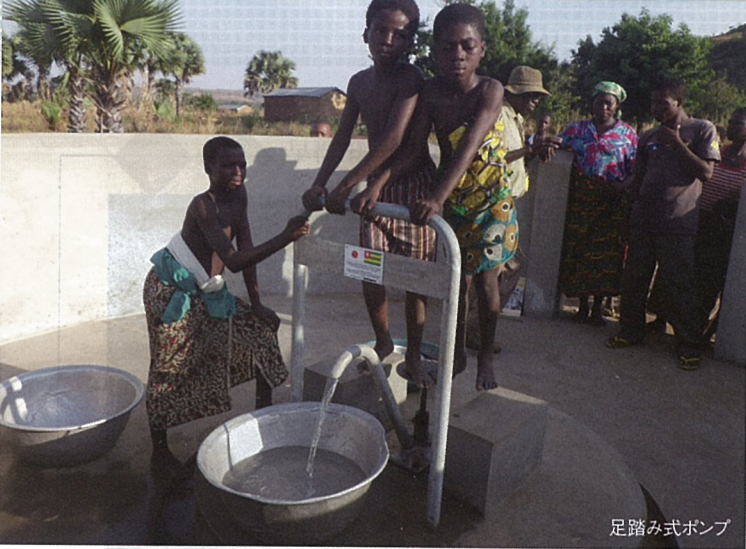
地理空間情報の今

IDJ REPORT

スリランカで政権交代

IDJ REPORT

ASEAN諸国との海洋安保協力加速



足踏み式ポンプ



井戸削孔状況



高架水槽(施工中)



高架水槽(完成)



ソーラー給水施設

PROJECT FOCUS

無償資金協力

## 7万人以上に安全な水を提供

【トーゴ共和国】マリタイム及びサバネス地域村落給水計画

コンサルティング：(株)三祐コンサルタンツ

施設建設：(株)日さく／(株)利根エンジニア 共同企業体

総人口575万人を抱える西アフリカの小国トーゴは、1991年に「国家給水設備10年計画」を掲げ、2000年までに全国で1万99カ所の深井戸を建設する計画を策定した。しかし、財政難や政治的混乱などの影響から、2000年の目標達成率は40%程度にとどまった上、村落部や準都市部における平均給水率は2010年時点で約43%と低いままだ。

こうした地域では、大部分の住民が手掘り井戸や浅井戸など、非衛生的な水源を使用せざるを得ず、

安全かつ十分な量の飲料水の確保は差し迫った課題だ。そのため、同国政府は08年8月、給水率が全国平均を大きく下回る地域での給水施設を新設・改修するための無償資金協力を日本に要請した。

今回の協力では、北部のサバネス州で100カ所の人力ポンプ付き深井戸施設（レベル1施設）と10カ所の動力ポンプ付き小規模給水網施設（レベル2施設）を新設するほか、マリタイム州で日本がこれまでに建設した50カ所のレベル1施設を改修し、両州でこ

れら給水施設の運営・維持管理や衛生に関する啓発活動を行った。

サバネス州の施設新設によっては約5万9,000人があらたに安全な水を利用できるようになった。さらに、マリタイム州での施設改修は約1万2,500人の安全な水の確保につながり、併せて対象地区全体の37%が今回のプロジェクトから便益を受けたことになる。これにより、衛生状態の改善とともに、児童や女性の水汲み労働の負担軽減と、それに伴う就学・就業率の向上が期待されている。